

全中道研会報

令和5年9月4日 No.1

全日本中学校道徳教育研究会
<https://www15.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1350010>



会長挨拶

道徳教育の発展を目指して



令和5年度 全日本中学校道徳教育研究会

会長 月田 行俊

昨年度に引き続き全日本中学校道徳教育研究会の会長を務めることになりました東京都江東区立有明中学校長の月田行俊です。よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症も5類となり、これまでの規制が緩和され、教育活動も1人1台タブレットという環境下のもと、新たなスタイルも加わった形で推進されています。

高知大会の中止、沖縄大会・山形大会のweb開催という取組を経て、令和5年度の函館大会は、現地開催という方向で準備が進んでいます。夏に入って感染者数も増加傾向ではありますが、感染対策や熱中症対策をしながら、教育活動や研究活動を行っていただいていることに感謝申し上げます。

先日も第1回役員・理事会を開催し、ハイブリッド型で運営をさせていただきましたが、改めて全中道研として、各ブロックのとの連携を深め、道徳教育の発展を目指して一歩一歩前に進めていくことの重要性を実感しているところです。

昨年度に引き続き、重点的に取り組むビジョンとして以下のテーマを掲げ、道徳教育の発展を目指したいと考えておりますのでご協力をお願いします。

1 組織体制の充実と強化

全国の道徳教育発展には、副会長会の果

たず役割は大きいと考えています。そのため、今年度も9ブロックの副会長、事務局長と会長とで「持続可能な組織体制」といったテーマを設定し、議論することで組織の強化を図っていきたいと考えています。

2 情報共有と情報発信

木村事務局長によって全中道研のホームページを全面リニューアルしました。これにより、さらに情報共有がしやすくなるとともに、情報発信も充実させたいと考えています。QRコードから入ることができますので、ブロック単位でご活用いただければと思います。

3 研究大会の支援

上廣倫理財団、石橋財団のご支援のもと、各ブロック、全国大会発表地域に対して援助していきます。全国大会開催地域に対しては、事務局が直接訪問し大会を支援させていただきます。函館大会で直接お目にかかれることを楽しみにしています。

4 研修会の充実

夏に実施する「道徳教育推進教師育成講座」を今年度もハイブリッド型研修として実施し、授業力の向上を目指します。また、地区研修会等の要請があれば全中道研として必要に応じて協力します。

今年も北九州をはじめ、大雨による被害に見舞われ、大変な状況にある地区もある中ではありますが、全中道研は活動を止めず、土台となって常に皆様の支えになって参りたいと考えております。

最後に、本会の運営には、上廣倫理財団、石橋財団のご支援が不可欠です。財団の皆様には心から感謝申し上げます。

今後ともよろしくお願いいたします。

第一回 役員・理事会報告

令和5年7月8日(土)午後1時より、東京都板橋区立赤塚第二中学校会場とZOOMを活用したハイブリッドによる全中道研役員・理事会(第1回)を行いました。

第一回ということで、ご参加いただいた全員に自己紹介をお願いし、各地区の活動状況に加え、今後の役員・理事会の開催方法についての希望も伺いました。その結果、大多数の方々から、対面及びオンラインを併用したハイブリッド開催を希望されましたので、事務局としては、今後もハイブリッド開催を基本としていく方向でまとまりました。

また、主な議事・報告は、次の通りです。

- 1 令和4年度事業報告及び決算報告
- 2 令和5年度事業計画及び予算案
- 3 令和5年度役員組織

事前に配付した資料をもとに説明し、承認していただきました。

4 全中道研大会の今後の予定

【令和5年度北海道函館大会】

大会主題を「主体的に学び合う児童生徒の育成」～Well-beingの実現を目指した道徳教育の実践～とし、令和5年11月1日(水)から2日(水)の期間で大会を開催します。大会初日は、函館市立亀田中学校を会場に、公開授業、授業研究分科会、課題別分科会、全国理事会を行います。二日目は、函館市民会館を会場に、基調提案、指導講話等を行います。

大会申込みは、9月15日(金)17:00までとなっております。詳細は、下記のURLもしくは右下のQRコードからご確認ください。

https://va.apollon.nta.co.jp/doutoku_hakodate2023/



【令和6年度神奈川大会】

大会主題を「自他を大切にすることを育む道徳教育の充実」～学びのつながりを感じ、自己の考えを深められる授業づくりを通して～とし、令和6年11月21日(木)から22日(金)の期間で大会を開催します。大会初日は午後から、カルッツかわさきと川崎市立渡田中学校を会場に、公開授業・研究協議・指導助言・理事会を行います。大会二日目は、課題別分科会、指導講話、記念講演を行います。

◇課題別分科会

第1分科会(北海道・東海北陸)

教材研究のあり方と発問を中心とした授業づくり

第2分科会(東北・神奈川)

ICTを効果的に活用した道徳科の授業づくり

第3分科会(東京・近畿)

道徳科の指導と評価

第4分科会(関東甲信越・四国)

道徳教育推進教師を中心とした道徳教育の展開

第5分科会(中国・九州)

学校教育目標を具体化するための多様な道徳教育の展開

【令和7年度岐阜大会】

令和7年11月27日～28日開催予定

【令和8年度東京大会】

今後計画的に準備を進めていく予定

6 その他

・功労者の推薦 [8/4 締切]

全中道研に貢献した会員について、退職時に各都道府県道徳教育研究会からの申請に基づき、役員会、理事会の承認を得て表彰状等を贈ります。原則として、令和5年3月31日付の退職者を対象とする。なお、退職ではなく、役員を退任した方も対象となります。

・研究大会・研究指定校の報告 [8/4 締切]

都道府県研究大会を把握し、祝電を送付

する。また、研究指定校等についても、全国に紹介していきます。

※月田会長からの情報提供です。

＜道徳教育に関わる研究学校のテーマ＞

福島県 新地町立尚英中学校

「対話を通して自己の思考過程をまとめ、自信を持って表現できる生徒の育成」
—ICTを活用した学び合いの工夫—

群馬県 沼田市立沼田中学校

「自他を大切にし、よりよく生きようとする生徒の育成」
—道徳科における道徳的価値を深める発問の工夫を通して—

埼玉県 越谷市立中央中学校

「自他ともに大切にし、心豊かな生徒の育成」
—「考え、議論する道徳」の実践を通して—

千葉県 八千代市立陸中学校

「き（聴・訊）き合い・学び合う教室づくり」
—一人一人の学びを保障する授業・質の高い学びを目指して—

山梨県 甲府市立西中学校

「主体的・対話的で深い学びの実現」
—授業改善と「考え、議論する道徳」の授業づくりを通して—

山梨県 北杜市立須玉中学校

「道徳科における道徳科の趣旨を踏まえた授業改善の方策」
—中心的な問いと生徒相互の意見交流に視点を当てて—

石川県 珠州市立宝立小中学校

「生きて働く道徳性の育成」
—わたしは、あなたは、これからは？—

奈良県 大和郡山市立郡山東中学校

「子どもの未来を拓く道徳教育の充実」
—全教員で取り組む「考え、議論する道徳」の授業—

和歌山県 串本町立潮岬中学校

「感性を生かした確かな教材研究に基づく深い学びの授業づくり」
—よりよく生きる「糧」としての道徳教育—

山口県 岩国市立通津中学校

「人間としてよりよく生きようとする力を育てる道徳教育」
—考え議論する授業を通して—

福岡県 大野城市立大利中学校

「自他の生命を大切に育てる子どもを育てる道徳教育」
—道徳科を要とした単元構成を通して—

長崎県 島原市立三会中学校

「自己を見つめ、よりよく生きようとする心豊かな生徒の育成」
—授業改善と教育活動全体からのアプローチを通して—

沖縄県 北谷町立桑江中学校

「主体的・対話的で考え議論する道徳科の授業づくり」
—学びを深める効果的なICTの活用場面を通して—

・令和5年度会費（分担金）の納入 [8/4 締切]

大会の開催費、理事会開催費、通信費等に活用させていただくため、例年分担金をお願いしています。全国は10,000円、関東甲信越ブロック10都県は13,000円をお願いしています。

・道徳教育推進教師育成講座 [7/21 締切]

令和5年度道徳教育推進教師育成講座は、都道府県から2日間参加可能な方を推薦していただき、2日間で実施します。

※会報2号でご報告いたします。

・2022年度道徳教育育成助成金 [7/28 締切]

全ての地区で助成金を申請し、若手教員育成等の研究実践に活用していただきます。

・「道徳教育実践事例集第10集」について

道徳実践事例集第10集については、令和6年度発行予定で、各ブロックから令和5年度、または令和6年度の取組から実践者を選んでいただき、事務局に推薦していただく予定です。

令和5年度 全中道役員・理事会の予定
第2回 令和5年11月1日(水)

北海道函館大会の会場である函館市立亀田中学校を会場に、公開授業・授業研究分科会・課題別分科会後の16:30から開催いたします。また、オンラインも併用して開催いたします。

第3回 令和6年3月2日(土)

板橋区立赤塚第二中学校(予定)を会場に、オンラインも併用して開催いたします。

第一回役員・理事会講演会（要旨）

「道徳教育の更なる充実・改善を目指して」
 文部科学省初等中等教育局教育課程課
 教科調査官
 国立教育施策研究所教育課程研究センター
 教育課程調査官
 井上 結香子 先生

◇当日配布した資料の一部をご紹介します。
 資料全編については、全中道HPに掲載
 しておりますので、右のQRコー
 ドもしくは下記のURLからア
 クセスしてご確認ください。



https://www15.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1350010&frame=youshki_jissen

I はじめに

II 道徳の「特別の教科」化による変化

III 道徳科の授業改善

調査結果（小・中学校）

【設問13】道徳の「特別の教科」化を受けたその他の変化（自由記述）

児童・生徒の変化

- 道徳に興味を持つ児童・生徒、道徳で学んだことを生活に生かそうとする児童・生徒が増えた。
- 学級担任以外の教師の意識が高まり、学校全体で道徳した実践が増えた。
- 教材の扱い方や指導方法に工夫が、道徳科の評価について
- 多様な指導法や質問を工夫するようになった。
- 記述評価により、児童・生徒が自分のよさや成長を実感できるようになった。
- 評価することにより指導中の児童・生徒の成長や様子に教師自身が様々な視点で目を向けることが増えた。

教員につながる変化

- 教科書や教科書発行者の指導書に頼る傾向が減少されるようになった。
- 道徳科の評価という学級担任の業務が増えた。
- 児童・生徒の道徳性に係る成長の様子を把握することは容易ではなく、評価への意識の高まりとともに、評価に不安を抱える教師が増えた。

【令和3年度 道徳教育実証研究調査報告書より】

IV 道徳科の特質を踏まえたICTの効果的な活用

IV 道徳科の特質を踏まえたICTの活用

道徳科のICT活用の留意点

- 目的** は、道徳性を養うこと。
- そのための**手段** が、ICT活用の工夫。
- 手段** であるはずのICT活用の工夫が、授業の**目的** になると・・・
- 教師主体** の「活動あって学びなし」の授業になる。
- 子供主体**

V 道徳教育の更なる改善・充実において

V 道徳教育の更なる改善・充実に向けて

完成版を共有
ではなく
プロセスを共有

- 道徳教育で育成をめざす児童生徒像
- 重点とする内容項目
- 児童生徒の実態・課題の把握
- 道徳教育の指導方針

VI おわりに—今後の充実に向けた国の取組について—

GIGAスクール構想のもとでの各教科等の指導についての参考資料

StuDX Style

<https://www.mext.go.jp/studxstyle/index2.html>

令和3年6月13日（金）2510版

【参考】[StuDX Style]は、下記のURLもしくはQRコードからご確認ください。

<https://www.mext.go.jp/studxstyle/index2.html>

